

推進フォーラム
について

市民のアイデアとチカラでムーブメントを創りだす かわさきパラムーブメント 推進フォーラム

2015年10月、パラリンピック競泳のメダリスト成田真由美さんと市長を共同委員長に「かわさきパラムーブメント推進フォーラム」を設置しました。スポーツや文化、まちづくりなど、さまざまな分野の委員が、パラムーブメント推進に向けた検討を進めています。



ただいま 進行中！フォーラム発リーディングプロジェクト

アクセシブルシティかわさき

- 車いす利用者など障害者の視点から、飲食店等のバリアフリーに関する情報を調査し、情報発信のあり方について検討を進めます
- 事業者向けに、2016年4月に施行された障害者差別解消法への対応に関する講座を開催します

インクルーシブなカワサキハロウィン

- 大人も子どもも、健常者も障害者も、あらゆる人が個性を大切にしながら楽しめるハロウィンイベントを目指します
- 車いす利用者など障害のある人でも参加できるハロウィンパレードを実施します

パラスポーツやってみるキャラバン

- 小学校の授業や地域の寺子屋等の場を活用して、児童を対象とした参加型の障害者スポーツ体験講座を実施します
- 障害者への理解や障害者スポーツへの関心へとつなげます



宿泊施設等のバリアフリー化プロジェクト

- 高齢者や障害者、インバウンド旅行者等にやさしいまちづくりを目指し、宿泊施設や観光施設のバリアフリーに関する現状調査を進めています

英国オリンピック代表チーム “TEAM GB”がやってくる 一流のアスリートに間近に接し、触れ合う。

英国オリンピック委員会とJOC、川崎市は、横浜市、慶應義塾大学とともに、2020年の東京オリンピック競技大会に向けて、等々力陸上競技場を英国オリンピック代表チーム（TEAM GB）の事前キャンプ地とする覚書を締結しました。



ここ等々力陸上競技場に
イギリス陸上チームが集結する



かわさき パラムーブメント

概要版

推進ビジョン | 第1期（2016-2017）

2016 ▶ 2018 ▶ 2020 ▶▶

Colors, Future!

いろいろって、未来。



川崎市

かわさきパラムーブメント推進ビジョン 第1期（2016-2017）概要版

平成28（2016）年10月

川崎市市民文化局オリンピック・パラリンピック推進室

電話044-200-0564/FAX044-200-3599

Eメール 20olypara@city.kawasaki.jp

推進ビジョンについて詳しく知りたい方は

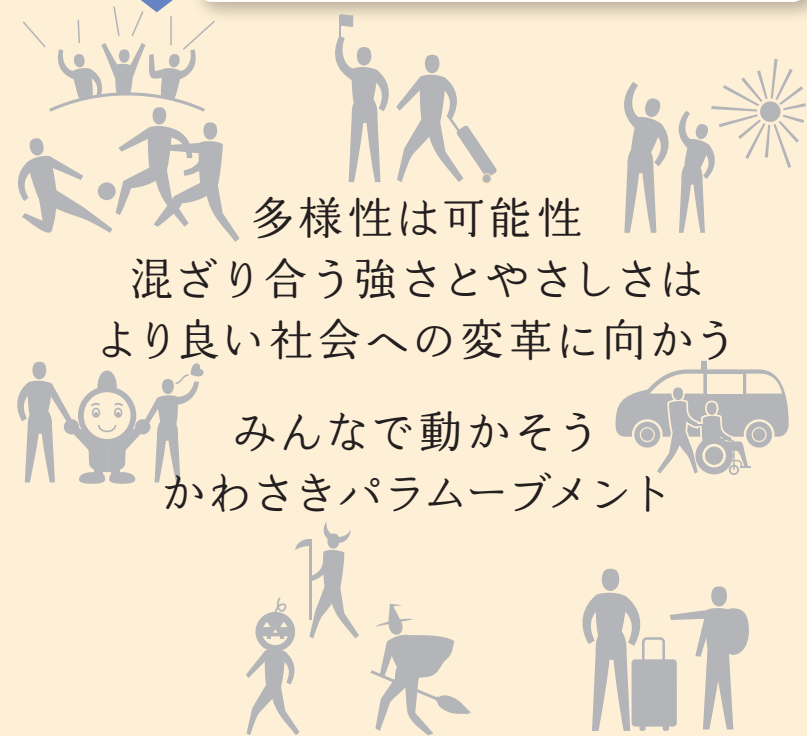
「かわさきパラムーブメント」について

日本はいま、少子高齢化、人口減少社会へと向かっています。高齢化が進み、心身に障害を持つ人や介護が必要な人が増えていく中で、一人ひとりが尊重され、能力を発揮できる環境づくりが重要です。

2020年、多くの人がオリンピック・パラリンピックに注目するこの機会に、障害のある人が生き生きと暮らす上での障壁となっている、私たちの意識や社会環境のバリアを取り除いたり、新しい技術でこれらの課題に立ち向かうことを「ムーブメント」として展開し、東京2020大会に向けて、そして、川崎の次の100年へとつないでいきます。

取組期間

2016年度	第1期	「開催につなげる取組期間」 「かわさきパラムーブメント」を中心とした、東京2020大会に向けた本市のビジョンを共有化し、取組の基礎となるネットワークやしくみづくりを重点的に進めます。
2017年度		
2018年度	第2期	「大会を成功させる取組期間」 大会組織委員会等との連携を深め、大会運営に積極的に協力するための取組を進めるとともに、「かわさきパラムーブメント」を実践する取組を展開します。
2019年度		
2020年度	第3期	「未来につなげる取組期間」 東京2020大会を盛り上げるためのさまざまな取組を実施するとともに、各期間の成果を振り返りながら持続的な取組へと発展させていきます。
2021年度		



Movement 2016 ▶ 2017

01 ひとづくり

東京2020大会に向けたボランティア人材の育成や心のバリアフリー、国際交流を推進することで、心がつながり通い合う、「ひとづくり」のための取組を進めます。

- 1 ボランティア活動の推進
- 2 心のバリアフリーの推進
- 3 国際交流の推進

■大会後のレガシー

- ボランティア文化（人材・しくみ・意識）
- 心のバリアフリー
- 多文化共生の社会
- 国際社会に貢献できる人材
- 障害のある人に配慮した就労環境

CHECK!

川崎国際多摩川マラソンで活躍するボランティア

障害のある方がランナーの走りを支える側として就労体験を行っています。



02 スポーツ振興・健康づくり

誰もが健康的で生き生きと暮らすことのできるまちづくりに向けて、スポーツや運動に親しめる環境づくりを進めるとともに、オリンピックやパラリンピックをはじめとする世界の舞台で活躍する川崎育ちのアスリートを育成するための取組を進めます。

- 1 障害者スポーツの推進
- 2 スポーツによる体力向上や健康づくり
- 3 JOC や JPC との連携の推進

■大会後のレガシー

- 誰もがスポーツに親しめる環境
- 健康づくりや生きがいにつながるスポーツや運動の習慣
- アスリートを発掘・育成・支援する環境

CHECK!

スポーツを通じたインクルージョンへの挑戦

「ゴールデングランプリ陸上2016川崎」では、パラリンピック種目であるT44/47クラスの男子100mレースが行われ、2万人を超える観客が湧きました。



03 まちづくり

東京2020大会を契機に、交通環境の向上をはじめ、駅周辺や公共施設のバリアフリー化、多言語化に配慮した案内表示の充実など、ユニバーサルデザイン化の推進や、交通ネットワークを戦略的に充実させるための取組を進めます。

- 1 交通環境の向上
- 2 案内表示の充実
- 3 バリアフリー化の推進

■大会後のレガシー

- ユニバーサル化（バリアフリー化・多言語化）の進んだ公共空間
- 羽田空港を核とする成長戦略拠点と連動した交通ネットワークの形成

CHECK!

川崎の玄関口がより魅力的に！
～川崎駅北口自由通路 2017年度供用開始～

分かりやすいサイン計画などユニバーサルデザイン化や、本市の魅力発信や行政サービスコーナーなどの複合機能を持つ施設の開設を進めています。



04 都市の魅力向上

市内への集客・回遊性の向上や、外国人観光客など、本市を訪れる人へのおもてなしの取組を進めます。また、誰もが文化芸術に親しめる環境づくりを進めるとともに、文化芸術の振興により本市のブランド力を高めます。

- 1 市内への集客・回遊性の向上
- 2 外国人観光客の増加に向けた取組
- 3 文化・芸術の振興

■大会後のレガシー

- 多言語に対応した観光施設
- 拠点化、ネットワーク化された観光資源
- 市民・来訪者がICTを利用しやすい環境
- 国内外に浸透した本市のブランドイメージ
- 誰もが文化芸術に親しめる環境

CHECK!

多彩な魅力と多言語サービスで外国人観光客の人気もup ～生田緑地～
藤子・F・不二雄ミュージアムの多言語音声ガイド「おはなしデンワ」や、日本民家園の外国語リーフレットなど、海外のお客様のおもてなしを進めています。



05 先進的な課題解決モデルの発信

本市が持つものづくり技術や、集積する高度先端技術を活かし、成長が期待されるライフサイエンス、環境、福祉などの産業分野において、国際社会への貢献や持続的な経済成長に寄与する取組を進め、国内外に広く発信していきます。

- 1 先端技術の世界に向けた発信

■大会後のレガシー

- 高度な医療ニーズに対応した革新的な医薬品・医療機器の開発による国際的な課題解決への寄与
- 低炭素化の推進による地球環境問題解決への寄与
- 新たな福祉製品・サービスの創出による国際的な高齢化の課題解決への寄与
- 先端技術に関する世界的なプレゼンス

CHECK!

水素を「つくる」「ためる」「つかう」をワンストップで実現

再生可能エネルギーと水素を用いた世界初の自立型エネルギー供給システム「H2One」の共同実証を川崎臨海部で進めています。

